

出題の趣旨一覧 <平成30年度長崎県学力調査(小学校算数)>

A 主として「知識」に関する問題

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨口	状 況			学年	領域	学習指導要領内容	
				県	学校	差				
1	(1)	90+10×5を計算する	加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる。	67.5	65.7	-1.8	4年	数量関係	(2)ア 四則の混合した式や()を用いた式	
	(2)	463+18を計算する	繰り上がりがある整数の加法の計算をすることができる。	91.9	91.5	-0.4	2年	数と計算	(2)イ 簡単な場合の3位数などの加法、減法	
	(3)	$\frac{4}{7} + 4\frac{6}{7}$ を計算する	同分母分数の加法の計算をすることができる。	72.7	73.5	0.8	4年		(6)イ 同分母の分数の加法、減法	
	(4)	8.7-0.23を計算する	小数の減法の計算をすることができる。	75.6	72.2	-3.4	4年		(5)イ 小数の加法、減法	
	(5)	4.8÷12を計算する	小数の除法の計算をすることができる。	67.2	68.0	0.8	4年		(5)ウ 乗数や除数が整数の場合の小数の乗法、除法	
2	(1)	① 0.1が1を何等分した大きさであるかを書く	小数の0.1と分数の $\frac{1}{10}$ が同じ数であることを理解している。10	75.5	70.2	-5.3	3年		数と計算	(5)ア 小数の意味と表し方
		② $\frac{1}{10}$ が1を何等分した大きさであるかを書く		78.0	75.5	-2.5	3年	(6)ア 分数の意味と表し方		
	(2)	① 1を10等分したテープの7こ分を小数で表す	1より小さい数を小数で表すことができる。	87.7	85.7	-2.0	3年	(5)ア 小数の意味と表し方		
		② 1を10等分したテープの23こ分を分数で表す	1より大きい数を分数で表すことができる。	43.9	36.6	-7.3	4年	(6)ア 分数についての理解		
3	(1)	① 図の2つのテープが「白」と「赤」のどちらのテープを表すか言葉で書く	場面と図を関連付けた二つの数量関係を理解している。	80.0	80.9	0.9	3年	数量関係	(2)ア 式と図の関連付け	
		② 赤いテープと白いテープについて、それぞれの割合を数で表す						場面と図を関連付けた二つの数量関係を理解している。	17.7	12.5
	(2)	① 図形を構成するのに必要な直角三角形の枚数を書く	図形の構成要素に着目して、図形を構成することができる。	59.2	55.4	-3.8		2年	図形	(1)イ 直角三角形
		② 平行な直線をかき際の根拠となる性質を選ぶ		12.2	10.3	-1.9				4年
(3)	長方形を重ねてできる図形の特徴として当てはまらないものを選ぶ	平行四辺形の性質について理解している。	59.2	57.3	-1.9	4年	(1)イ 平行四辺形、ひし形、台形			
(4)	円の直径と等しい正方形の辺の長さを書く	円の直径が半径の2倍であることと円の直径と正方形の1辺の関係を理解している。	60.3	58.5	-1.8	3年	(1)ウ 円、球			
(5)	組み立てたときに直方体になる展開図を選ぶ	直方体の展開図を理解している。	52.5	51.0	-1.5	4年	(2)ア 立方体、直方体			
5	(1)	① 2m15cmをcmで表す	長さの単位を理解している。	71.3	77.5	6.2	2年	量と測定	(1)ア 長さの単位(m, cm)	
		② 3kg48gをgで表す	重さの単位を理解している。	50.6	49.4	-1.2			3年	(1)イ 重さの単位(g, kg)
	(2)	ア 角の大きさがどのくらいになるかを選ぶ	角の大きさの見当をつけることができる。	77.5	76.6	-0.9	4年		(2)アイ 回転の大きさ、角の大きさの単位	
	(3)	① 長方形の色のついた部分の面積を求める式と答えを書く	正方形や長方形の面積の求め方について理解している。	64.5	64.2	-0.3	4年		(1)イ 正方形、長方形の面積	
		② 複合図形の面積の求め方について、示された求め方に合う図を選ぶ		71.7	71.0	-0.7				
(4)	① 複合図形の面積の求め方について、示された求め方に合う図を選ぶ	77.9	76.1	-1.8						
6		立方体の積み木の段数と下からの高さの関係を□と△を使って式に表す	伴って変わる二つの数量についての関係を□、△などを用いて式に表すことができる。	54.4	55.6	1.2	4年	数量関係	(2)ウ □、△などを用いた式	
7	(1)	二次表の総合計にあたる数を書く	資料を二つの観点から分類整理して表に表すことができる。	76.5	75.9	-0.6	4年	数量関係	(4)ア 二つの観点から分類整理すること	
	(2)	二次表中の「7」が表す意味を選ぶ	二次表に表された数の意味を理解している。	75.2	72.6	-2.6	4年			
8	(1)	2つの市の月別気温を表す折れ線グラフから最も差が小さい月を読み取る	2つの折れ線グラフについて、数量の大小や差を読むことができる。	59.9	56.8	-3.1	4年	数量関係	(4)イ 折れ線グラフの読み方とかき方	
	(2)	折れ線グラフから分かることを2つ選ぶ	折れ線グラフが示している数量の大小や、変化の特徴を読み取ることができる。	52.5	49.8	-2.7	4年			

B 主として「活用」に関する問題

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨 ※本県継続課題との関連には下線	状 況			学年	領域	学習指導要領内容
				県	学校	差			
1	(1)	① なえの代金の求め方を示した式の中の下線部分の意味を書く	示された式の意味を記述することができる。	64.9	64.4	-0.5	3年	数と計算	(3)イ 乗法の計算が確実にでき、用いること
							4年	数量関係	(2)ア 四則の混合した式や()を用いた式
		② 最も安くなる購入の仕方を書く	なえの代金が最も安くなる買い方を考えることができる。	53.4	51.4	-2.0	3年	数と計算	(3)イ 乗法の計算が確実にでき、用いること
							4年	数量関係	(2)ア 四則の混合した式や()を用いた式
	(2)	学級園の周りをブロックで囲む際、必要なブロックが足りるか足りないかを判断し、その根拠を書く	条件を満たすかどうかを判断し、その根拠を記述することができる。	24.3	21.8	-2.5	3年	数と計算	(4)ア 除法が用いられる場合とその意味
							4年		(3)イ 除法の計算を用いること